



新田だより 12月

豊中市立新田小学校 第8号
R5(202312.1)



新型コロナウイルス感染症が五類に移行し、ポストコロナ期における学校も新たな教育の在り方について検討し実践しています。

創立150周年記念式典終わる！

本年は、創立150周年を迎え、私たちは幸運にもその歴史の節目に居合わせることができました。新田教育のこれまでの軌跡と未来にむけた展望を、豊中市長をはじめ、教育委員会教育長、近隣の管理職、保護者代表の皆様、地域の皆様と共有できたことは、新たな歴史を刻み、記憶に残る大きな出来事になりました。

第一部では、教職員が力を合わせて作成した、150周年記念映像「ユネスコスクール新田小学校のあゆみ」を視聴。続いて、六年生が在校生を代表して、「私たちの星『地球』の平和」を発表しました。発表の中で宣言した「新田小学校平和宣言」は未来の平和な地球への願いと次世代の担い手としての覚悟が聞き手に伝わりました。

第二部では第二校歌「地球星歌」の作詞作曲者のミマスさんをお招きし、地球星歌に込められた願いや思いをお話いただきました。終盤にはミマスさんのピアノ伴奏で「地球星歌」を全員で合唱しました。ミマスさんも途中から合唱に加わり一緒に歌ってくださいました。そして、合唱が終わったと思いきや、ピアノ伴奏が再び流れ、今度は、高学年の児童が英語バージョンで地球星歌を歌い始める等、感動の連続でした。

保護者、地域、行政の皆様から、この間における多大なご支援とご協力を賜りましたことに改めまして御礼申し上げます。志新たに、新田小の更なる発展に向け努力してまいります。

※新田小学校平和宣言文は裏面に掲載しています。



つながい響き合う心

SDGs

ESD学習発表会・作品展に、保護者の皆様をはじめ、本校のESD学習にご支援頂いています地域、行政等の方々に
ご参観いただき心より感謝いたしております。当日は、「学びの四本柱」を基に、「知ることを学ぶ」「なすことを
学ぶ」「ともに生きることを学ぶ」「人間として生きることを学ぶ」の四つの学びで培った力を応用して、プレゼン
テーションや作品等で発表しました。皆様の温かいまなざしのおかげで、子どもたちは心地よい緊張感を保ちつつ
も、伸び伸びとESD学習の成果を発表することができたように思います。

本校のESD教育の特徴は、様々な諸課題を自分事化して捉えることです。そのために、ESDメガネという手法を用
いて課題と自分とのつながり、また、他者とのつながりを大切に協働してより良い社会づくりに努めています。この
ような活動が認められ、豊中市から第17回エコ市民賞を頂いたり、文部科学省主催のユネスコスクール全国大会で
パネリストとしての登壇要請を受けたりすることが多くなりました。

〈取組みの概要〉

一年生は自分と友だちや先生等、自分とつながっている人や物に気づく時期。そこで、「みぢかなものが大へんし
ん」をテーマに、給食の牛乳パックから紙粘土づくりに挑戦し、大好きな生き物を制作しました。他にもアサガオの
つる等、本来の役目を終えて捨てられてしまうものを再利用しました。

二年生は、野菜づくりをとおして、健康なからだづくりに野菜は欠くことができないことを学習。「スパイベジフ
ァミリー」となった子どもたちが、自分たちが育てた野菜について報告しました。

三年生は、「SHINDEN ワークマン+」と題してキャリア教育の視点からいろいろな仕事私たちの暮らしを支
えていることを知り、将来なりたい仕事について調べました。

四年生は、「防災サイバー」をテーマにし、多発する自然災害の数々について調べ、いざ災害に遭遇した時に命を守ることができるよう、「自分事」として行動しようと呼びかけました。発表当日は、陸前高田市立高田小学校の児童がオンラインで学び、協働学習に取り組みました。

五年生のテーマは、「save the earth」。地球上で深刻化する温暖化、その影響を大きく受けている海の生物にスポットを当て、その現状から温暖化の原因や対策について企業や専門家の方々とつながり学習。自分事としてどのように行動するか仲間と議論し決めていきました。

六年生は、六年間のESD学習の総括として平和をテーマに、今なお増え続ける世界問題について、未来の平和の担い手として必要となる力や平和とは何かについて議論し、どう行動するかを「新田小学校平和宣言」という形で具現化しました。

ESD学習発表会・作品展は学びの中間発表として位置づけ開催いたしましたが、「言葉や歌」「作品」が語りかける発表者の気持ちや優しい心など、一つ一つの作品に説得力がある素晴らしい発表でした。

このような発表ができたのは、子どもたち自身が課題を自分事して受け止め行動したいという気持ちがあったからだと思います。また、取組みの過程で、「成功させるためには、どのような努力が必要なのか」という先生たちの問いかけに、「互いによいところや悪いところを教え合う。一人で悩まず助け合うことが必要だと思う。心を一つにして認め合うような努力が必要だ。」と応える姿がありました。まさに、新田版学びの4本柱を実現する貴重な場となりました。

SDGsの行動目標を教科等に関連付けながらESDの考えを取り入れた学習を展開してきた中間発表が、後半の学習を経て、ESDフェスタへとどのように発展していくのかご期待ください。

保護者の皆様方も子どもたちの発表内容を共有していただき、創りたい未来に向け、共に前進していただければと願っています。

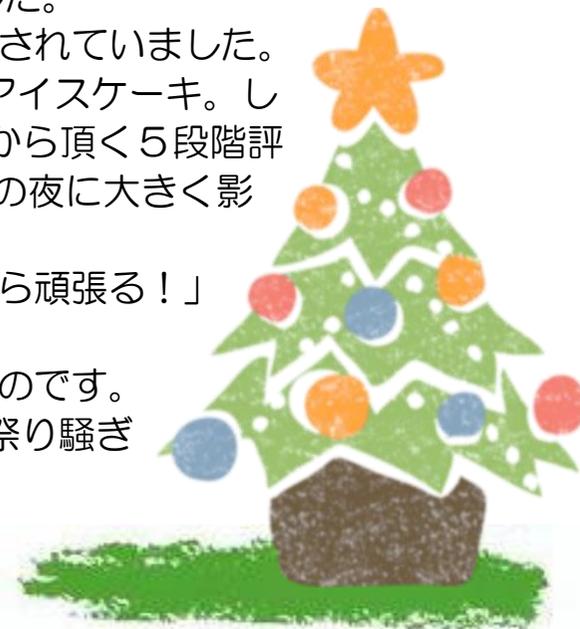


クリスマスの思い出

私の小学生の頃の終業式は、12月24日クリスマスイブでした。当時は、給食センターから紙の箱に入ったバターケーキが配給されていました。夜には、母親が注文した二段のバターケーキとデコレーションアイスケーキ。しかしながら、その前に難関がありました。それは、担任の先生から頂く5段階評価が入った二学期の通信簿です。その結果が楽しいクリスマスの夜に大きく影響したことを記憶しています。

通信簿の良し悪しで褒められたり叱られたりした後、冬休みの目標を立てて「これから頑張る！」と約束し、ようやく家族皆でクリスマスケーキを囲み団らんの時間を過ごしました。

バターケーキを存分に食べつくした後、サンタさんをお願い事をして眠りについたものです。迎えた25日の朝は、枕元にサンタさんのプレゼント！嬉しくて楽しくて仕方なくお祭り騒ぎをしたことを覚えています。



頑張った一年に終わりをづけ、新しい希望の年へ

大晦日は、一年を振り返り、新たな一年への決意を改める大切な日です。

年末年始は保護者の皆様方にとって一番お忙しい時期とは存じますが、子どもたちは、記憶にのこる幸せな時間を過ごしています。お子様との時間を大切にさせていただき、新しく迎える年が皆様にとりまして希望に満ちたものとなりますようお祈り申し上げます。

二学期終業式 12月22日(金)



二学期の学校生活におけるお子様の学習と生活に関する評価表「のびゆく子ども」をお渡しします。

12月実施予定の個人懇談会においては、お子様の学校生活の様子を保護者の皆様に詳しくお伝えいたします。頑張った点は更に伸ばし、もう少し努力するともっと良くなる点につきましては目標達成にむけてスモールステップで、頑張っていけるようお子さんのサポートをお願いいたします。

大谷翔平選手は中学生の時、ナインブロックを作成し目標達成に臨んでいました。お子さんと一緒にナインブロックでステップアップをはかるのも良い方法かと思えます。



創立150周年の節目に、六年生が学校を代表して以下の内容の平和宣言を行いました。

次のページ

新田小学校平和宣言

私たちが生まれる前、日本は多くの国と戦争をしていました。
戦争は長い間続き、ヒロシマに世界で初めて原子爆弾が落とされました。
それは、一瞬で、一発で、そこに生きていた人たちの命を、生きた証を、未来を、奪いました。
それは、生き残った人々に生きる悲しみを与え続けました。
それは、私たちが想像していたよりも ずっと、ずっと、悲惨なものでした。

その悲劇から長い年月が過ぎ、78年経った今、過去の出来事として終わらせるのではなく、私たちは自分事として平和を祈るすべての人々の思いを引き継いでいかなければならない。
それが未来を生きる私たちの使命です。

しかし、今この瞬間も、住んでいた場所が、大切な人の命が、子どもたちの未来が、戦争によって奪われています。
世界のどこかで、明日飛んでくるかもしれない核兵器が存在し、貧困、差別、教育格差・・・数えきれないほどの問題を抱え、世界平和への道のりは遠く、果てしないように感じます。

でも私たちはあきらめません。一人でも苦しむ人を減らすため、相手の気持ちを理解するため、未来を、世界を、変えるため、仲間と共に学び、互いの思いを言葉で伝え合い、つながりをつくっていく努力を続けます。

いつか、誰もが自分らしく生きられる 世界中の子どもたちが学校へ行ける、安心して「また明日！」と笑いあえる 互いの思いを尊重しあえる、そんな平和な世界になるまで。

そして、その平和が少しずつふくらんで、いつか海をわたり、世界中に広がっていく日がくるまで、そばにいる友だちと力を合わせて平和のために何ができるか考え、明るい未来のために平和な新田小学校をつくっていくことを宣言します。

令和5年（2023年）豊中市立新田小学校六年生一同

豊中市長 フェイスブックでお祝いメッセージ配信！

祝 創立 150 周年おめでとう。

当時は、明治新政府に財源がなく、地域の人々の寄付や負担で開校したところが多かったそうです。新田小学校もその一つです。先人のおかげで 150 周年を迎えました。

今では国連のユネスコスクールに加盟し、ESD を基軸にしたグローバル人材の基礎を育む先端校として発展しています。

200 周年を迎える未来を児童たちがどのようにつくってくれるかワクワクします。

ミマスさん、ラジオでメッセージ！



式典でご講演頂きましたアクアマリンのミマスさんは、ラジオ番組のパーソナリティーをされており、本校の式典で講演された感想を当日の夜、ご自身の番組で配信されました。

以下、配信内容を記してお伝えします。

「今日は、豊中市立新田小学校が創立 150 周年を迎えられました。すごいですね。新田小学校は、児童数が 850 人を超えるというとても大きな学校なんです。そんな学校の創立記念式典で、皆さんに特別講演としてお話をしてきました。この新田小学校は、世界平和についての学習や SDGs の学習を

盛んに行っており、すごい学校だなと思いました。また、「地球星歌」を第二の校歌として、全校の皆ですずっと以前から歌ってくれているんです。そんなご縁もありまして、今日は、学校の皆さんの大事な式典で講演をさせて頂き光栄に思っています。50分間の講演のなかでは、世界中を旅した時に撮った写真などを一緒に見てもらったり、弾き語りもしたりしました。海外に行くと日本では見られない、雄大な自然、オーロラが見えたり、氷河があったり。タンザニアではキリマンジャロの絶景、そして、ボツワナでは野生の像と出会ったりすることもあります。地球は素晴らしい星です。けれど、一方で、地球環境のこと、人類の問題があります。南アフリカ共和国ではアパルトヘイトという人種差別の問題があったことや、ニューヨークの9.11のテロの話をしたり、戦争の話をしてきました。話をするなかで新田小の子どもたちは本当にすごいなと思ったのは、この日、僕の前に四年生が座っていたのですが、第二次世界大戦の話に触れ、オランダのアムステルダムで過ごしたアンネフランクの話をした時に、四年生皆が「知ってる、知ってる。」という声をあげるんですね、また、ニューヨークの国連本部の写真を見てもらった時にも、やはり皆が「見たことある、知っている。」と言うわけです。本当に教育というのはすごいなと思いました。アンネフランクを皆が知っている、国連本部を皆が知っている、見たことがあるという、そういう小学校、子ども達皆の反応を見たときに、この学校で行われている地球の平和とか地球環境などの学びが、うわべだけの学びではない、本当に一人一人が、自分たちの血となり肉となり心に根付いている学校なんだと思いました。50分間の最後は、僕のピアノ伴奏で地球星歌を合唱で歌ってくれたんですね。本当に壮大な歌声、ピアノを弾きながら感動してしまうような合唱でした・・・。」

※FM 湘南ナパサ (78.3MHz) 『ミマスの星空音楽館』 11月21日放送内容より